

ようこそ
東京証券取引所へ



東京証券取引所のひみつがいっぱい



株式会社東京証券取引所

〒103-8224 東京都中央区日本橋兜町2-1

受付時間9:00～11:15、12:30～16:30(土・日・祝祭日及び12/31～1/3を除く)

とう きょう しょう けん とり ひき じょ 東京証券取引所へようこそ！

ぼくはあろーずくん。

東京証券取引所のマスコットキャラクターだよ。

東証アローズと同じ 2000年 5月 9日 生まれ。

広報・IR部に所属していて、東証をもっと知ってもらえるように活動しているよ。

ぼくが東京証券取引所を案内するね！

きっと周りの大人の人も知らないような秘密がたくさんあるよ。

東京証券取引所のことをたくさん知ってもらえたらうれしいな。



あろーずくん

とうしょう ず かん 東証図鑑の使い方

この図鑑では、東証の施設や歴史などを紹介します。テレビや新聞、教科書などで見たことのある東証の設備にはいろんな役割があります。おうちに帰ってからも図鑑を見て、見学したことを思い出したり、気になったことは調べてみてください。

難しい言葉もたくさん出てきますが、図鑑の最後には用語集もあります。

いろいろな設備を紹介するページの中にはQRコードがついています。図鑑の写真だけでは紹介しきれない、レアな映像も見ることができます。ぜひアクセスしてみてくださいね！



レポートや自由研究などに使える写真もこちらからダウンロードできます。「ギャラリー」をのぞいてみてくださいね。

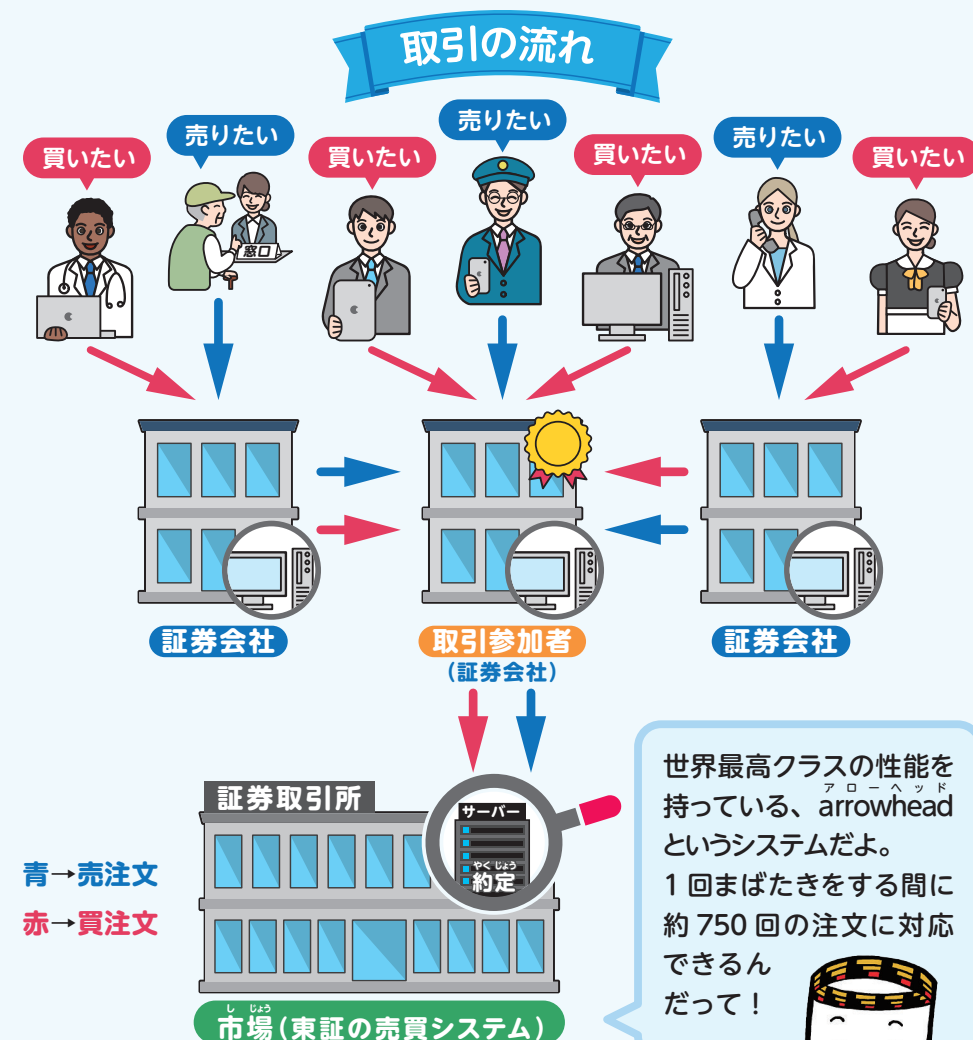


証券取引所って何をするところ？

証券取引所は、日本だけでなく世界中の投資家が、決められたルールの中で株式の取引をスムーズに行うために作られた場所です。

証券取引所には、ほかにもいろいろな役割があります。

「知っていますか？取引所の役割」で詳しく説明しているので、そちらも読んでください。



現在の建物は1980年代に建て替えられたもの。東証は明治時代からずっと同じ場所にある。

東京証券取引所本館

約 800 名の職員がこのビルで働いている。

東京証券取引所市場館^{しじょうかん}

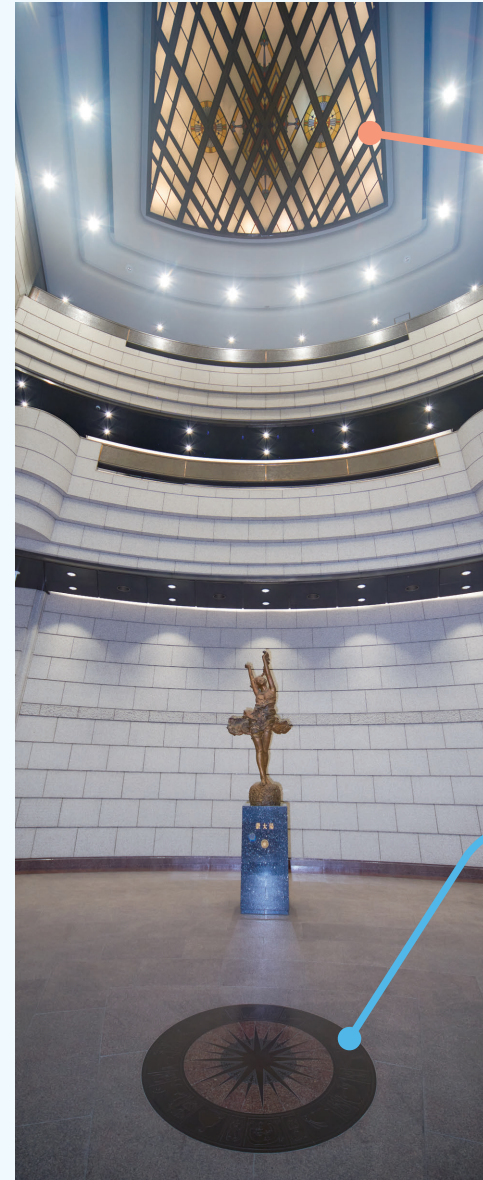
みんなが見学できる東証アローズは、こちらの低い建物の中にある。



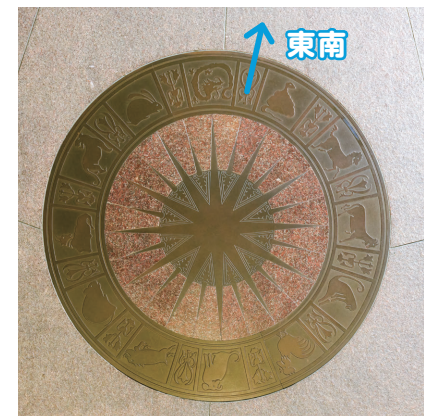
実はときどきデザインが変わっていて、次に来るときはまた違うデザインになっているかも。



証券業界では昔から縁^{げん}起^{かつ}を担ぐ習慣があって、ここで働く人達は縁起のいいものが大好きなんだ。東口玄関は縁起のいいものがたくさん集まっているから、金運スポットとも呼ばれているよ。



天井^{おうぎ}に扇形のステンドグラスが東証アローズに向かって広がっている。末広^{えんぎ}がりの形で縁起がいい。



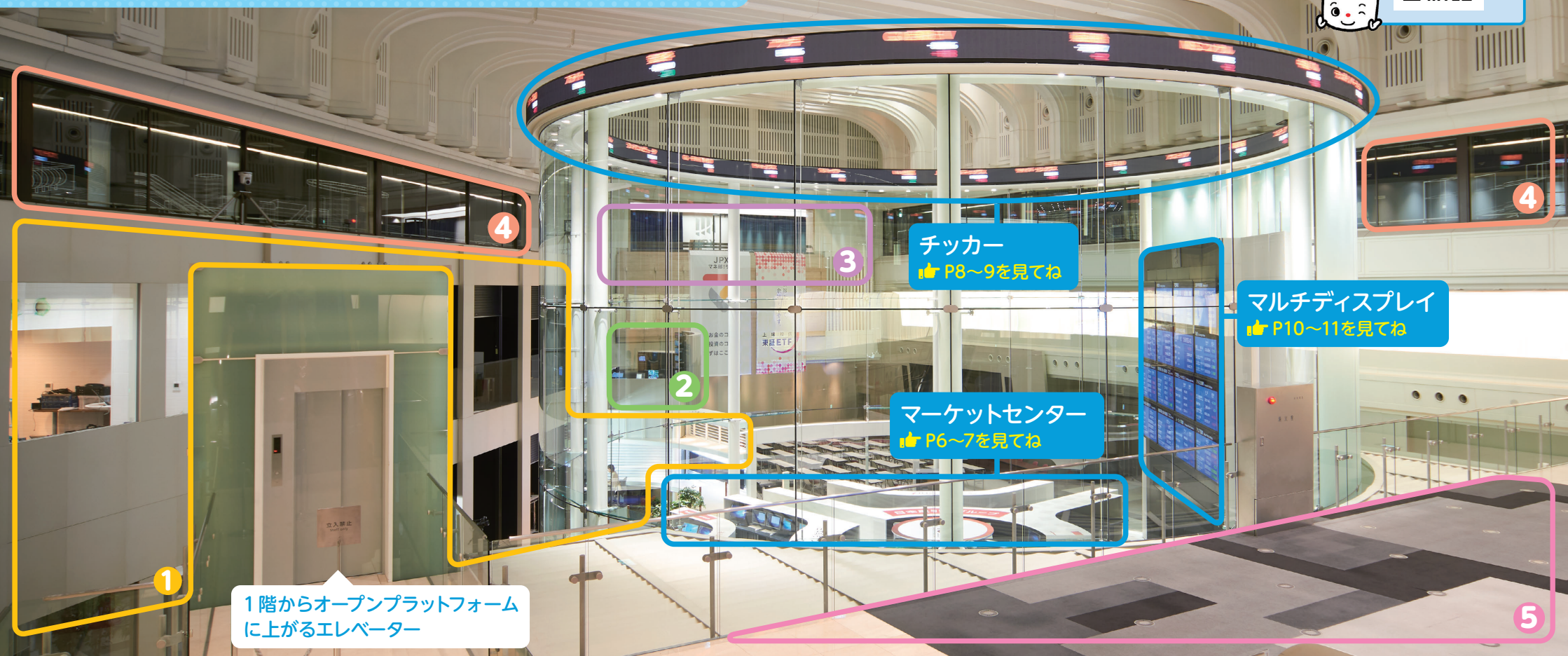
床に十二支の円盤^{えんぱん}がある。玄関が東南^{たつみ}（辰巳の方角）に向いていて、風水ではこの方角に玄関を構えると良い運氣が入ってくるといわれている。

2000年5月に誕生した、市場に関する情報の発信基地。中の広さは約1,800㎡
(バスケットボールのコート約4面分)、天井までの高さは約15m。



ふだん
ここは普段からほとんど人がいなくてとっても静かなんだ。

どれくらい静かなのか
動画で見てみてね。



① メディアセンター (エレベーターの奥)

「NHK」などのテレビ局、「日経ラジオ社」などのラジオ局、「ストックボイス」などの経済専門チャンネルの中継スタジオが入っている。

② コントロールルーム

チックカーやマルチディスプレイなど東証アローズの中の様々な電光表示の指令を出しているところ。

③ VIPテラス

特別なお客様をお迎えするところ。

④ 見学回廊

東証アローズの中を覗きながら一周できる。壁には歴史写真などが展示してある。

⑤ オープン プラットフォーム

中二階の多目的スペース。大納会・大発表・新規上場セレモニーなどが行われる。

マーケットセンターは、マーケット（株式市場）の監視を行っているところ。



よくテレビで見る場所だね。マーケットセンターは東証のシンボルだから、東証アローズの中のどこからでも見えるようになっているんだって！



1

ガラス張りになっているのは、取引の仕組みや状況が誰にでもわかるようになっていて（市場の透明性）、取引が平等に正しく行われていること（公正性）のシンボルだから。

2

このマルチディスプレイ（P.10）は、メディアセンターから撮影しやすい場所にある。オープンプラットフォームにもう一台ある。

3

中では東証の社員が、コンピュータの画面を見て、異常な値段や数量の注文や急激な値段の変動がないかどうかを監視している。

マーケットセンター
／ 中に潜入！ ／



04 チッカー

普段、チッカーには売買が成立した株価の情報が次々と表示されている。



チッカーには、株価以外にも特別な表示もすることができるよ。



1

1周は約50m。外側と内側には同じ情報が表示されている。

2

回る速度は4段階で、取引が多くなると株価をたくさん表示するために速く回る。一番速いときの速度は秒速3.2m（ランニングをするくらいのスピード）。

速さの違いを
みてみよう！

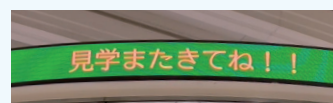


チッカーの特別な表示

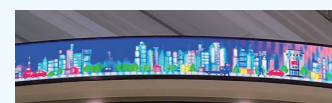
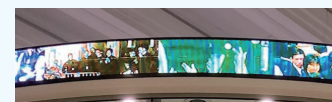
取引開始



メッセージ



アニメーション



QRコードを読み取ると
それぞれの映像を
みることができるよ！



JPX ...銘柄名
2,000.0 ...株価
+12.5 ...前日の終値との比較

前日よりも株価が**上がっている**と赤、
下がっていると緑、**同じ**だとオレンジ



マルチディスプレイ(株価ボード)

普段、取引が行われている時間は東証の市場に関するいろんな情報を表示している。



チッカーと同じように、前日の終値よりも株価が上がっていると赤、下がっていると緑で表示されるんだ。白く色が変わっているところは、取引が成立した銘柄だよ。たくさん取引が行われるから、数字もどんどん変わるよ!

1

じ か そう が く じょうじょうめいがらすう ばいばいだか ばいばいだいきん
時価総額・上場銘柄数・売買高・売買代金

朝9時の取引開始からどれくらい取引があったかなど、東証市場の状況をリアルタイムで表示している。

2

かぶ か し すう
株価指数

日本の代表的な株価指数を表示している。投資をするときの参考になる。

3

かわせ
為替

東証では為替取引はできないけれど、為替は株価に影響を与えることが多いので表示している。

4

めいがら
かぶ か
100銘柄の
株価

大型株と呼ばれる100銘柄の株価を表示している。ここに表示される銘柄は1年に1回見直される。

5

ぎょうしゅべつ し すう
業種別指数

ここでは、TOPIXの対象銘柄を17の業種に分けて株価の動きを表している。

6

日本で取引されている株式以外の代表的な銘柄を表示している。



普段の株価ボードの様子も見てみよう!



<

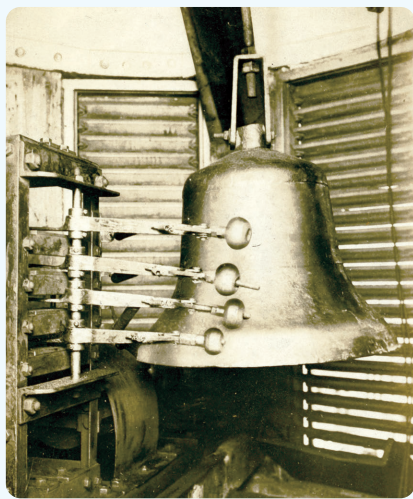
セレモニーで鳴らす鐘。新規上場セレモニーで使われることが多いので上場の鐘と呼ばれている。



高さ
約 40cm
(直径約 51cm)

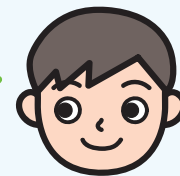


鐘を鳴らす木槌には上場する会社名が刻印される。



昭和 10 年ごろまで毎日鳴らされていた時の様子。

あろーずくん、鐘ってたくさん鳴らすの？

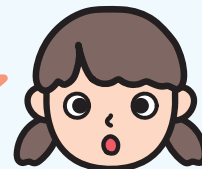


5 回鳴らす決まりになっているよ。

回数にも意味があって、新しく上場する会社や証券界が発展しますようにという願いを込めて、「**五穀** ^{ほつじょう こくもつ} **豊穰** (穀物が豊かにみること)」という言葉から、**「5」**回鳴らすんだ。



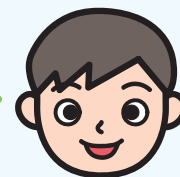
そんな理由があるんだね！
なんでこの鐘はこんなに古いの？



昭和 10 年ごろまでは、取引の始まりを知らせる鐘として使われていたんだ。そのときは**電動式**だったんだよ。当時の市場関係者は、毎日、**立会開始** ^{たちあい} **の合図**としてこの鐘の音を聞いていたんだよ。



どんな音がするんだろう？
ぼくも鳴らしてみたいな。



君も大きくなって会社を作ったら、東証に上場させて、セレモニーで鐘を鳴らしてね！



QR コードを読み取ると、
鐘を鳴らすセレモニーの
様子が見られるよ！



東証の前身 東京株式取引所の立会場 (1878年～1943年)



日本の近代化のため 1878年に東京株式取引所が設立。当初の売買立会日はひと月に2日だけ。株価の急激な動きなどで売買中止になることも多かった。



戦争、恐慌など、政治や世の中の動きが株価に反映するようになる。また大正10年には、立会場入場者に洋服の着用が義務付けられた。

全銘柄の取引のコンピュータ化以降 (1999年5月～)

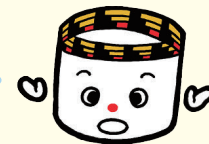


立会場は工事をして、**2000年5月**に東証アローズが誕生。

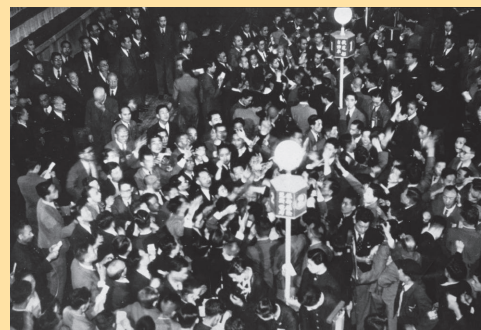
／ 昔の様子が見られるよ。 ／



こんなに昔から株式の取引が行われていたんだね。
最初のころとはかなり様子が変わったね！



東京証券取引所の立会場 (1949年～)



東京証券取引所の初立会 1949年

財閥解体により大量の株式が出回ることになり、一般市民が株式を所有する動きが急速に進展。



旧立会場 1969年ごろ

証券会社の職員が、手話のような手サインを使って活気ある株取引を行っていた。立会場の壁は黒板になっていて、ここに売買が成立した株価を書き込んでいた。



新立会場 1980年代後半

ほとんどの銘柄がシステム売買となっても売買高の多い一部の主要な銘柄は立会で売買され、立会場は証券市場の中核として機能していた。

02 東京証券取引所の歴史

東京証券取引所の前身である東京株式取引所、日本証券取引所の歴史も紹介するよ。

年月	出来事
1878年5月	東京株式取引所の創立
1923年9月	関東大震災のため立会場及び事務所焼失、売買不能に陥る
1927年12月	東京株式取引所 新市場館完成
1943年6月	東京株式取引所、66年間の歴史を閉じる 全国11株式取引所が統合し、日本証券取引所が発足

年月	出来事
1943年7月	日本証券取引所開業、一斉に売買開始
1945年8月	広島支所、原爆により焼失。全市場で10日以降当分の間一斉に臨時売買停止、そのまま終戦を迎える。
1947年4月	日本証券取引所の解散

年月	出来事
1949年4月	東京証券取引所の設立
1949年5月	売買開始
1950年9月	東証株価平均（ダウ式）、現在の日経平均株価の公表開始
1953年12月	清算業務に日本初のコンピュータ（電子計算機）を導入
1956年4月	債券市場の開設
1969年7月	東証株価指数（TOPIX）の公表開始
1971年7月	株券の振替決済制度を開始
1974年9月	「相場報道システム」稼働
1982年1月	一部の銘柄から売買システムの稼働
1984年12月	東京証券取引所 新市場館完成
1985年5月	東京証券取引所 旧市場館が閉場 立会場での売買開始、新相場報道システム・新売買照合システム稼働
1988年4月	150の立会場銘柄を除き株式全銘柄のシステムによる売買開始
1988年5月	東京証券取引所 新本館完成

年月	出来事
1990年11月	立会場事務合理化システムの稼働
1999年4月	立会場の閉鎖
2000年5月	「東証 ARROWS」オープン
2001年9月	J-REIT市場の開設
2009年1月	株券電子化完了
2009年3月	日経平均株価、バブル崩壊後最安値（終値7,054.98円）
2010年1月	株式売買システム「arrowhead」稼働。システムの全面刷新は約10年ぶり。売買注文の処理速度が最大600倍に。
2013年1月	日本取引所グループの設立
2013年7月	大阪証券取引所の現物市場を東京証券取引所に統合
2014年3月	東京証券取引所のデリバティブ市場を大阪取引所に統合
2015年4月	インフラファンド市場の開設
2015年6月	コーポレートガバナンス・コードの策定及びそれに伴う上場制度の整備
2015年9月	arrowhead をリニューアル（二代目）、注文処理スピードを従来の約2倍にし、高速取引に対応
2018年10月	株式の売買単位を100株に統一
2019年11月	arrowhead をバージョンアップ（三代目）
2020年10月	1日、システム障害により国内すべての取引所で終日売買停止
2022年4月	新市場区分開始、「プライム市場」、「スタンダード市場」、「グロース市場」となる。
2023年10月	カーボン・クレジット市場の開設
2024年1月	新たに設定する証券コードから英文字組入れを開始
2024年8月	日経平均株価、史上最大幅の下落。その翌日には史上最大幅の上昇（終値31,458.42円、下落幅－4451.28円。翌日は終値34,675.46円、上昇幅＋3217.04円）
2024年11月	arrowhead4.0（四代目）稼働、株式の売買時間を午後3時30分までと30分延長。
2025年8月	日経平均株価、TOPIX ともに史上最高値を更新

03

日本の取引所

日本には東京証券取引所のほかにもたくさんの取引所があるよ。

それぞれ取り扱っているものが違ったり、得意分野が違うよ。



ピンクの枠 …株式などを取引できる証券取引所。

青の枠 …デリバティブなどの取引をする取引所。

札幌証券取引所

東京金融取引所

東京商品取引所



名古屋証券取引所

福岡証券取引所

東京証券取引所



どうし
堂島取引所

大阪取引所



JPX
JAPAN EXCHANGE GROUP

JAPAN EXCHANGE GROUP

JP = 日本の X = 取引所 (市場)

持株会社

日本取引所グループ
子会社の経営管理

現物取引

東京証券取引所
株式・ETF・REIT等
いわゆる現物が上場

デリバティブ取引

大阪取引所
株価指数・国債・
貴金属・農産物等の
先物等が上場

東京商品取引所
エネルギー先物商品
が上場

市場関連サービス

JPX 総研
株価指数の算出・
市場データの提供

清算・決済

日本証券
クリアリング機構
資金・証券の清算

自主規制

日本取引所
自主規制法人
売買審査・上場審査等

04

世界の取引所

現在、世界のほとんどの国と地域に取引所があって、それぞれの国の経済の中心的な役割を果たしているよ。

世界中の取引所で情報連携をしたり、提携を結んだりして共通の課題に一緒に取り組むこともあるよ。



ロンドン証券取引所

東証

ニューヨーク証券取引所

ナスダック
Nasdaq

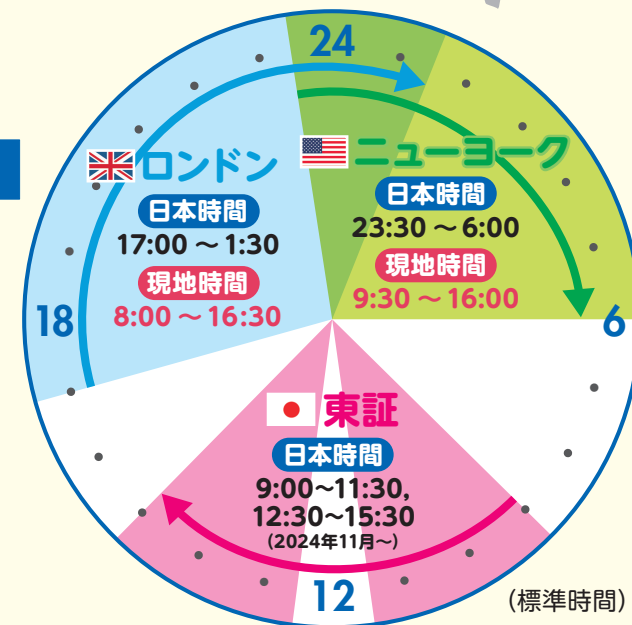
上海証券取引所

深セン証券取引所

香港証券取引所

取引が行われる時間

ほぼ 24 時間、どこかの取引所で取引が行われているんだね。世界の経済がつながっているのも伝わるね。



05 兜神社

かぶとじんじや
兜神社は、兜町と東京証券取引所の守り神とされている神社です。
東京証券取引所の北口玄関のすぐ近くにあります。



兜神社



兜岩

名前の由来はいくつかあって、平安時代の武将 源義家みなもと の かつみけが東北遠征に向かう途中ここに立ち寄り、必勝祈願で岩に兜をかけたことから兜神社の名前がついたという説もあるんだ。兜をかけたと言われる兜岩は今も境内に残っているよ。

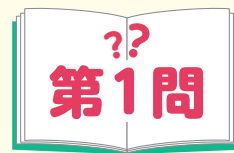


神主さんのいない無人の神社なので東京証券取引所でお守りを授与しています。



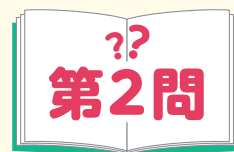
御守

06 東証図鑑クイズ!!!



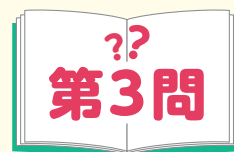
チッカーという名前は何が由来でしょうか？

- ① 銘柄と株価を印字する機械のチクチクという音
- ② 取引成立したときの点滅てんめつ、チカチカ
- ③ チッカーさんという人物名



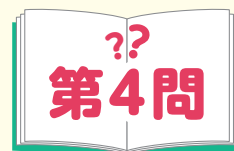
日本取引所グループ(JPX)全体で何人の社員が働いているでしょうか？

- ① 800 人
- ② 1,000 人
- ③ 1,200 人



JPXのマスコットキャラクターの名前は何でしょうか？

- ① あろーずくん
- ② チッカーくん
- ③ かぶくん



チッカーに流れてくる会社の株を買いたいと思ったときは、チッカーに書いてある数字を何倍した金額を準備すればよいでしょうか？

- ① 10 倍
- ② 100 倍
- ③ 1,000 倍

第1問
の答え

- 1 チッカーという名前はかつてニューヨーク証券取引所でチッカーテープ（細長い紙）に銘柄と株価を印字していた時の「チクチクチク」という音が由来なんだ。

第2問
の答え

- 3 正確には1,248人の社員が働いているよ（2025年3月31日時点）。2ページめにでてくる東京証券取引所本館だけでなく、大阪や海外で働いている人もいるんだ。

第3問
の答え

- 1 マーケットセンターの形をしたあろーずくんです！

ぜひ覚えてね。

第4問
の答え

- 2 現在、東証で株式を売買するときの株数は、100株の倍数（整数倍）で売買する決まりになっているよ。



授業で勉強するだけじゃない。
みんなにとってとても身近な
「お金のコト」をもっと知って
ほしいから見てほしい。

JPX金融経済教育統一ブランド「JPXマネ部！ラボ」は、すべての世代の方、一人ひとりに寄り添ったお金に関する情報をお届けします。



証券取引所の役割についてや株式市場の基礎について、学生の方にもわかりやすく解説しているサイトです。



春休み・夏休み・冬休みに親子で学べる経済教室を開催しています。経済や株式会社のしくみについてお話しします。



小中高校への出前授業の他、大学への講師派遣も行っています。オンライン授業も可能です。



学校の先生向け研修で、東証社員が公平・中立の立場から講義や教材紹介を行います。



最後まで読んでくれてありがとう！
東証のこと、知ってもらえたらうれしいな。
また見学にも来てね！



ETF

上場投資信託。専門の運用会社が株式や債券など様々な資産に投資・運用するもののうち、株式市場で取引されるもの。

大型株

TOPIXの対象銘柄の中で、時価総額と流動性（どれだけ活発に取引されているか）が高い上位100銘柄のこと。

終値

1日のうちで、最後に取引された値段。

株価

株式が取引されるときの値段。

株価指数

株式の相場全体の状況を示すために、株価を一定の計算方法でまとめて、数値化したもの。TOPIX、日経平均株価など。

株式

会社が出資（お金を出すこと）してもらった人に渡す証明書のようなもの。現在では電子化されていて、コンピュータ上でやり取りをするのみ。

株主

会社に出資（会社にお金を出すこと）した代わりに株式を受け取った人。

業種別指数

業界ごとの株価の動きを数値化したもの。

後場

午後の取引が行われる時間帯。

時価総額

その会社の株主が持っている株式の、その時の価値の総額。「株価×株式の数」で計算する。

市場

買いたい人と売りたい人の注文を集めて取引を成立させる場所。マーケットともいう。

証券

会社がお金を集めるときに発行する株式や債券などのこと。

証券会社

投資家と取引所の間に入って株式などの売買の取次や引受を行う企業。

証券コード

会社ごとに付けられる識別番号。普通の株式の銘柄コードは英数字4文字（2024年1月以降～）で、一般的には業界順に振り分けられる。

証券取引所

会社が発行する株式などを取引所で売買できるように資格を得ること。上場するには審査に合格することが必要。

新規上場セレモニー

会社の株式などが上場する日に行われるセレモニー。上場通知書を贈呈して、上場の鐘を鳴らす。

東証図鑑をより分かりやすくするためのキーワードを集めてみたよ。普通の国語辞典には載っていない言葉もたくさんあるよ。



清算

株式取引では、売買が成立した後に、売り手と買い手の間で資金や株式の交換をするための計算などを行うこと。

前場

午前中の取引が行われる時間帯。

相場

市場で売買される株式や債券などの値段。

大納会

一年の最後の取引日に行われるセレモニー。

大発会

一年の最初の取引日に行われるセレモニー。

立会場

取引所の中で、証券会社の職員が集まって取引を行っていた場所。現在は廃止されている。

デリバティブ

日本語では「派生商品」。株式などへ投資する方法の一つだが、仕組みが大きく異なる。先物取引、オプション取引など。

TOPIX

昭和43年（1968年）1月4日の市場第一部に上場していた銘柄の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したもの。

取引参加者

取引所に直接注文を出すことができる証券会社。取引参加者ではない証券会社は、取引参加者を經由して取引所に注文を出す。

日経平均株価

日本経済新聞社が算出する、東京証券取引所プライム市場に上場している225銘柄の平均株価指数。別名「日経225」。

売買代金

株券等が売買された金額。

売買高

株券等が売買された数。

売買単位

証券取引所で売買するときの注文数量は、「銘柄ごとに決められた数×整数」と決まっている。この「銘柄ごとに決められた数」のことを売買単位という。

振替決済制度

金融機関の口座の間で株などの移動を行う仕組み。実際の「モノ」は直接やり取りしなくてよい。

銘柄

市場で取引される株式などの名前。株式市場では会社名が銘柄名になる。

約定

売買が成立すること。

REIT

不動産投資信託。不動産に投資・運用するためのもので、賃貸収入や売却益を配当として受け取れる。

メモやおもいでにのこったことをかいたり、じゅうにつかってね

見学日 年 月 日

学校名

名 前